

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:2023年2月10日

事業所名:アナベルキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用人数に対し、十分なスペースを確保し、支援している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・基準に沿った配置を実施している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・利用児の状況に応じて絵カードを活用するなど、視覚的情報を適度に取り入れるよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・小まめな清掃や換気を徹底し、清潔な環境づくりに努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・支援内容に対し、反省や目標を掲げ、振り返りや見直しを逐次行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・結果を踏まえて逐次業務改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・結果については、Lineworks等で職員間の共有を図り、改善内容については、ホームページへ掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・今後、検討予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・伝達研修、支援実施後のOJT等実施している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントを実施し、こどもの様子や保護者のニーズを分析した上で児童発達支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・共通したアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・児童発達支援計画に沿って支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・プログラム立案者が主体となり、多くの意見を取り入れながら内容を検討している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節に応じた活動の取り入れ等、利用児の現状に応じて活動内容を工夫している。 ・固定化されないよう活動終了後、振り返りをし次の活動に反映している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		・個々の課題に応じて、個別支援計画を作成、活動を提供している。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動案を作成し、共通理解を図りながら利用児の現状や活動内容についてミーティングを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動終了後、支援内容や利用児の行動について職員間で共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・HUGシステムを使い、毎活動終了後に保護者へお知らせし、また個別のケース記録を残すことを徹底している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的にモニタリングを実施している。
関係機関や保護者との連携関係	21	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・管理者兼児童発達支援管理責任者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・利用希望者の事業所見学时に担当保健師の同席等、要請に応じて対応している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・現時点で対象利用児はいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・現時点で対象利用児はいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・利用児童が通園している保育園、幼稚園とも連携しており、保護者の承諾を得て、必要な情報共有、情報交換を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・現時点では、就学対象児はいないが、必要に際し対応する予定。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・研修会等、機会があれば参加している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・参加の機会がない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・HUGシステムを活用し、日々のこどもの様子を写真と文章を交えた報告や送迎時に日々の様子を伝達するなど、工夫している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・新型コロナウイルス感染予防のため、実施していない。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に丁寧な説明を心掛けている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・契約時に丁寧な説明を心掛け、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施するなどして都度助言や支援をしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・新型コロナウイルス感染予防のため、実施していない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・迅速、適切な対応を心掛けている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>		・会報は発行していないが、HUGシステム内で月間活動予定の公表や個々の日々の活動内容を保護者へお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>		・個人情報の取り扱いには十分配慮している。
	39	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>		・意思疎通や情報伝達のため、配慮をしながら支援をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>		・松元校区まちづくり協議会や福山保全隊、地域の有識者の協力をいただき、芋ほりや稲刈り、そばの種蒔きなど、地域資源を活用した事業運営を行っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		・契約時の説明で対応している。閲覧に関しては配慮不足があるため、ウェブ等活用し閲覧に供することができるよう内容を検討していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		・絵本による災害学習や避難場所の経路確認訓練を実施した。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		・初回アセスメント時の確認と随時保護者からの情報提供にて対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		・初回アセスメント時の確認と随時保護者からの情報提供にて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		・発生の都度作成し、職員間で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		・県社会福祉社会の開催する研修会に管理者が参加し、その後、各職員へ伝達研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		・身体拘束は行っていない。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)